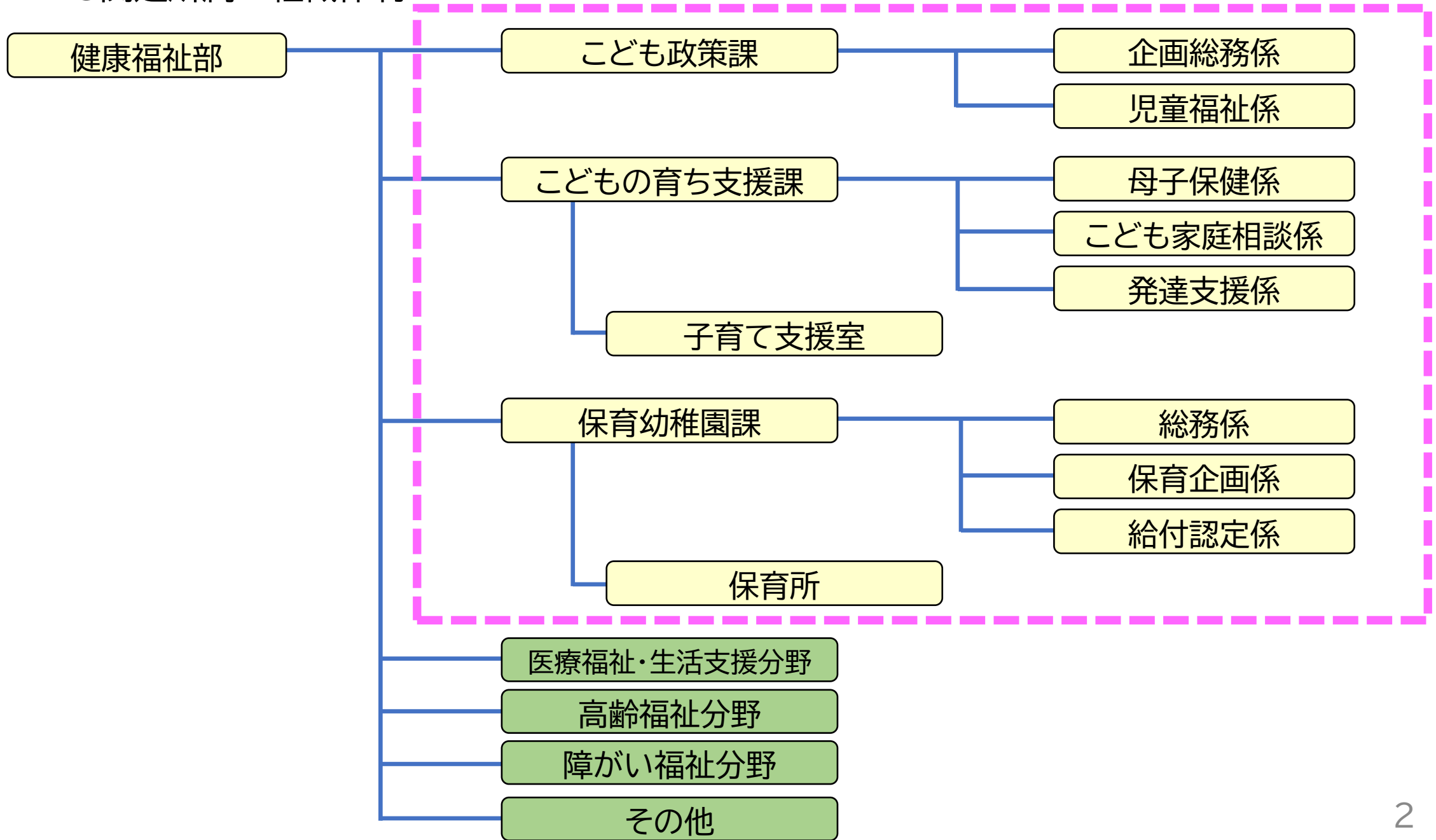


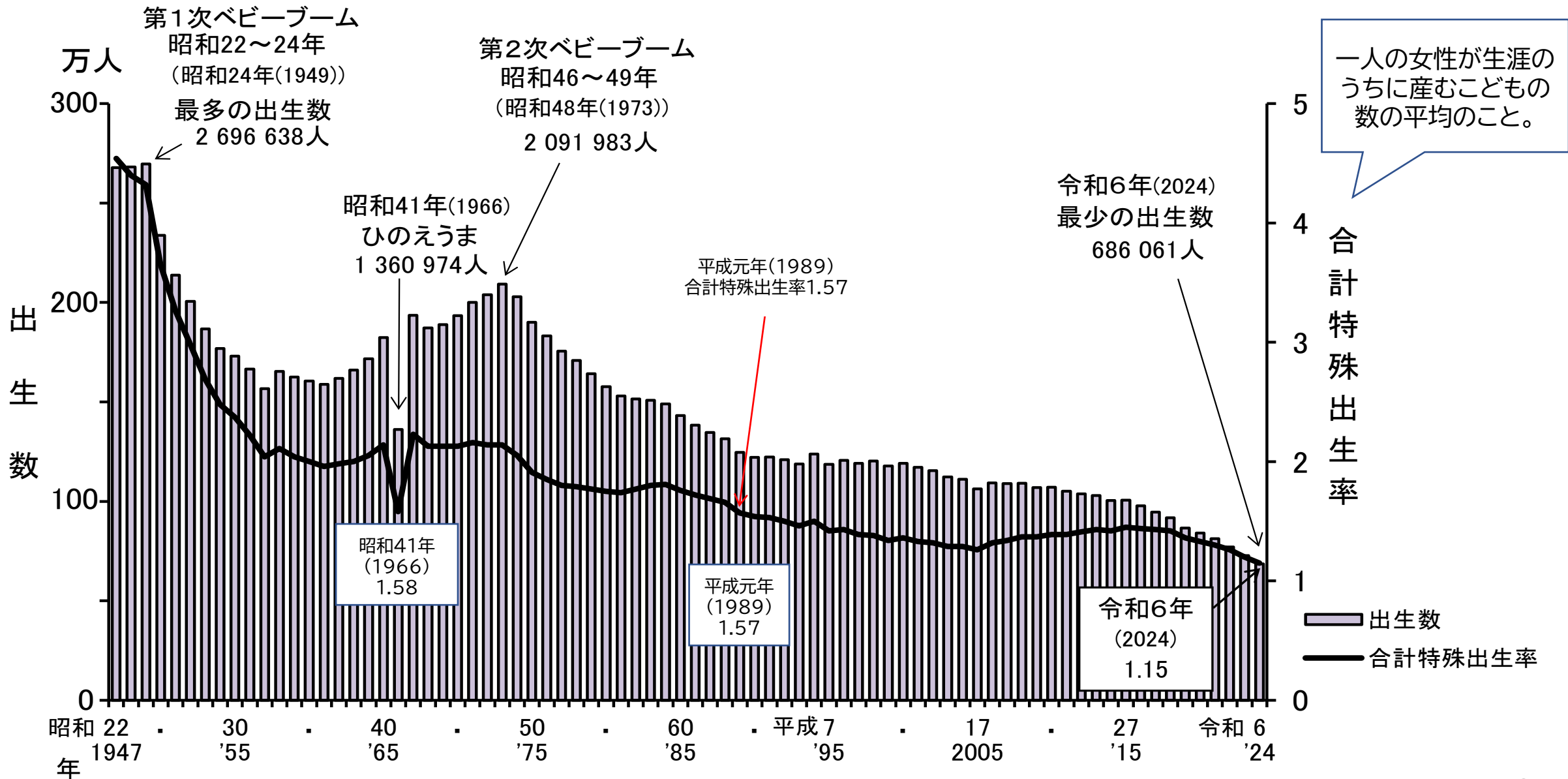
# 伊賀市こども計画について

2026(令和8)年5月20日  
健康福祉部こども政策課

# 伊賀市のこども関連所属の組織体制



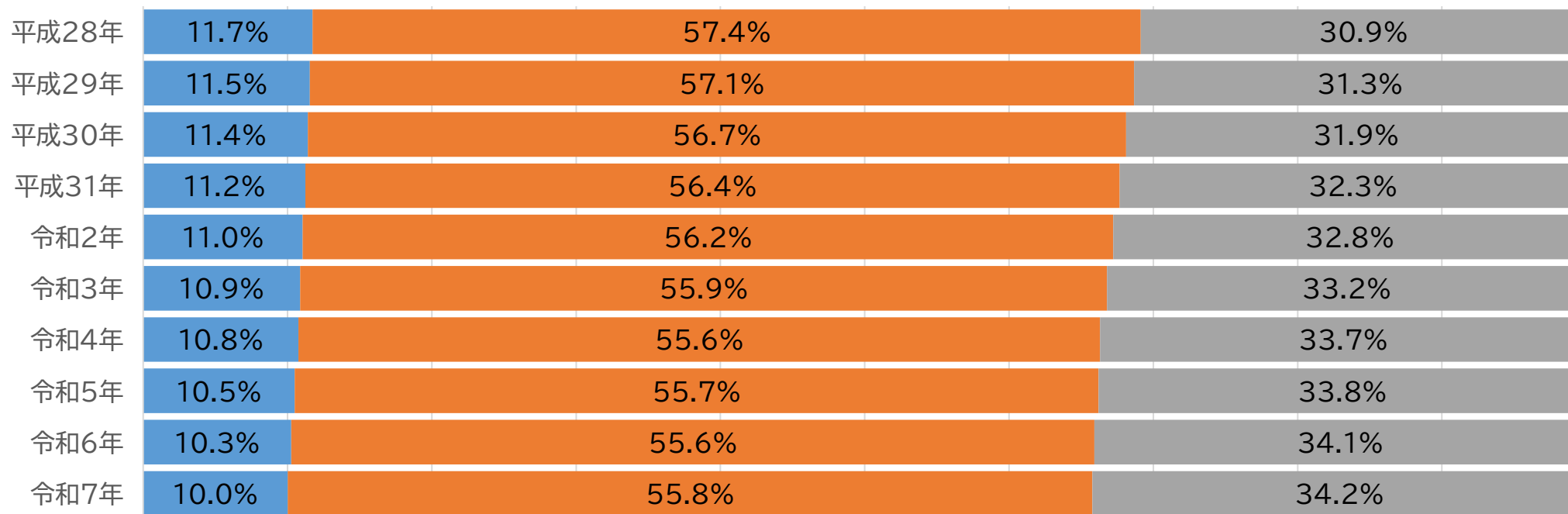
# 全国 出生数と合計特殊出生率の推移



# 伊賀市における年齢3区分別人口の推移

各年3月31日時点(住民基本台帳人口) (人)

|        | 平成28年<br>(2016) | 平成29年<br>(2017) | 平成30年<br>(2018) | 平成31年<br>(2019) | 令和2年<br>(2020) | 令和3年<br>(2021) | 令和4年<br>(2022) | 令和5年<br>(2023) | 令和6年<br>(2024) | 令和7年<br>(2025) |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 年少人口   | 11,064          | 10,783          | 10,546          | 10,300          | 10,004         | 9,708          | 9,443          | 9,069          | 8,759          | 8,418          |
| 生産年齢人口 | 54,104          | 53,324          | 52,424          | 51,737          | 50,877         | 49,915         | 48,775         | 48,141         | 47,486         | 46,875         |
| 老年人口   | 29,106          | 29,256          | 29,490          | 29,645          | 29,691         | 29,639         | 29,576         | 29,208         | 29,095         | 28,767         |
| 総計     | 94,274          | 93,363          | 92,460          | 91,682          | 90,572         | 89,262         | 87,794         | 86,418         | 85,340         | 84,060         |

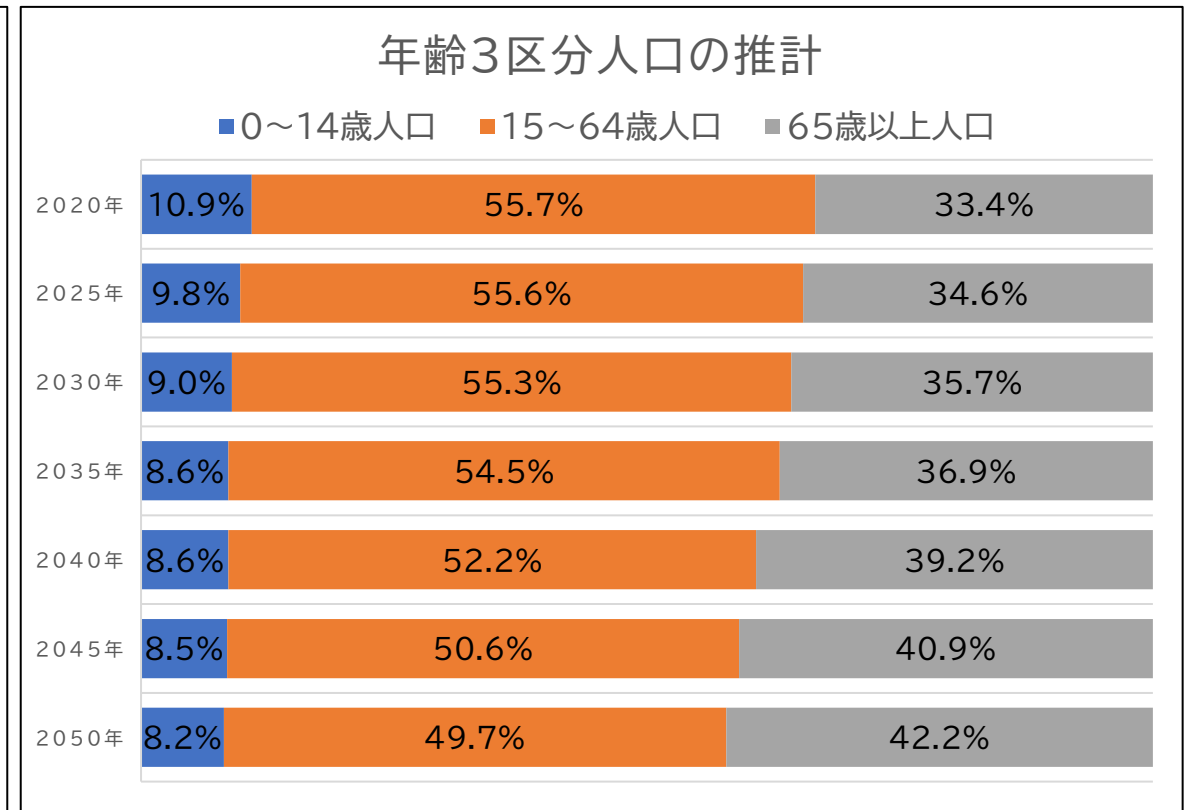
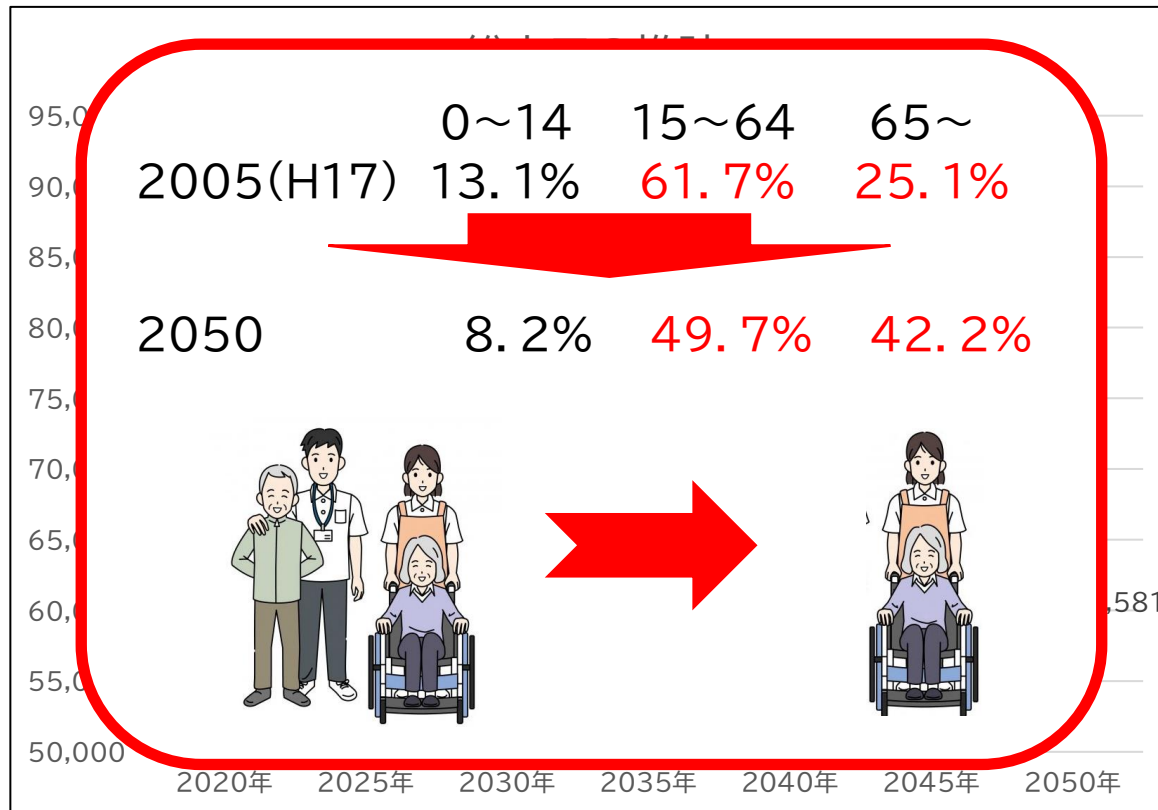


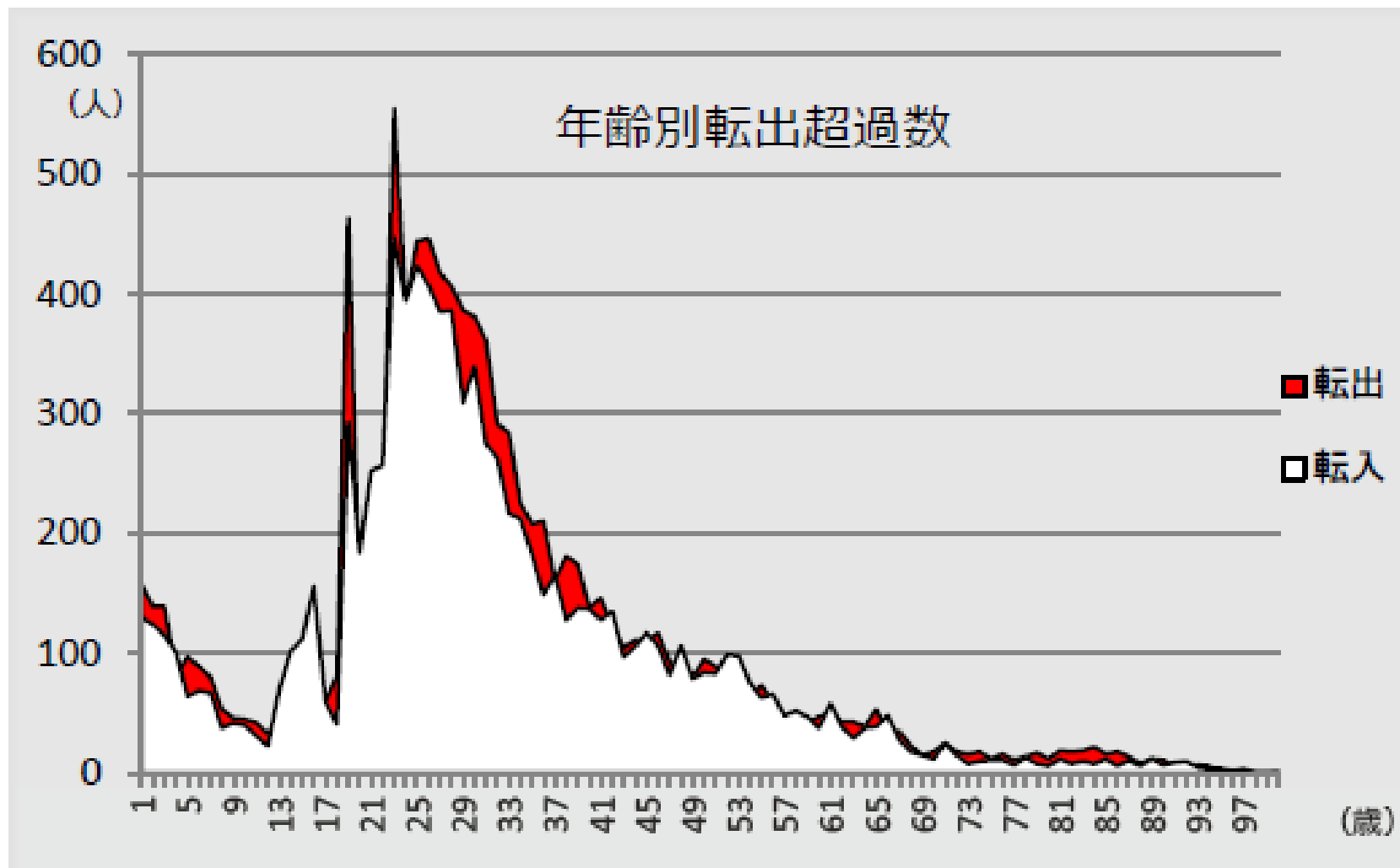
■年少人口(15歳未満) ■生産年齢人口(15~64歳) ■老年人口(65歳以上)

# 伊賀市における今後の人口推計

国立社会保障・人口問題研究所推計（人）

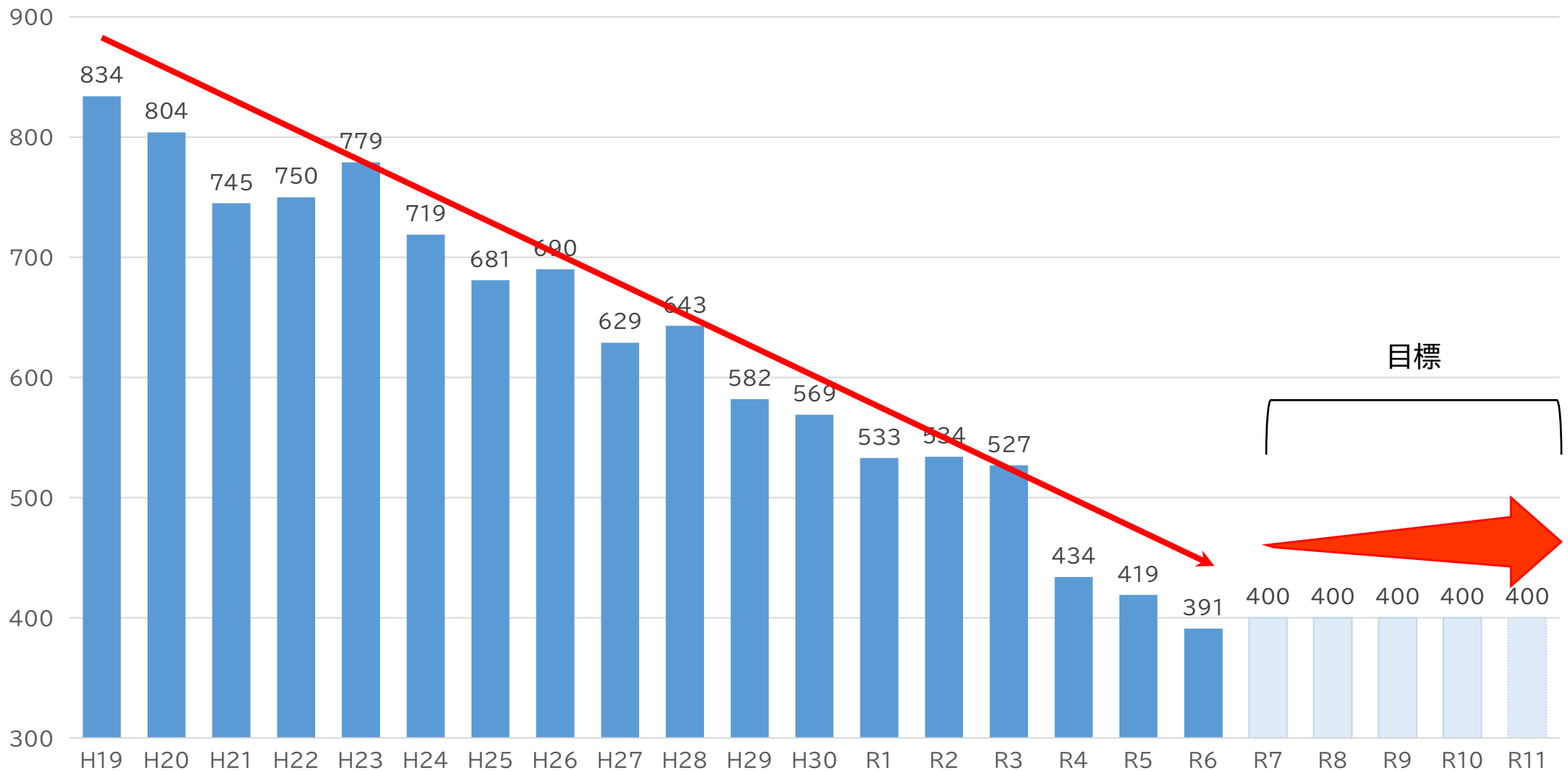
|          | 2020年  | 2025年  | 2030年  | 2035年  | 2040年  | 2045年  | 2050年  |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0～14歳人口  | 9,699  | 8,247  | 7,127  | 6,462  | 6,039  | 5,543  | 4,953  |
| 15～64歳人口 | 49,461 | 46,818 | 43,941 | 40,734 | 36,543 | 33,026 | 30,084 |
| 65歳以上人口  | 29,606 | 29,084 | 28,373 | 27,553 | 27,451 | 26,689 | 25,544 |
| 総人口      | 88,766 | 84,149 | 79,441 | 74,749 | 70,033 | 65,258 | 60,581 |





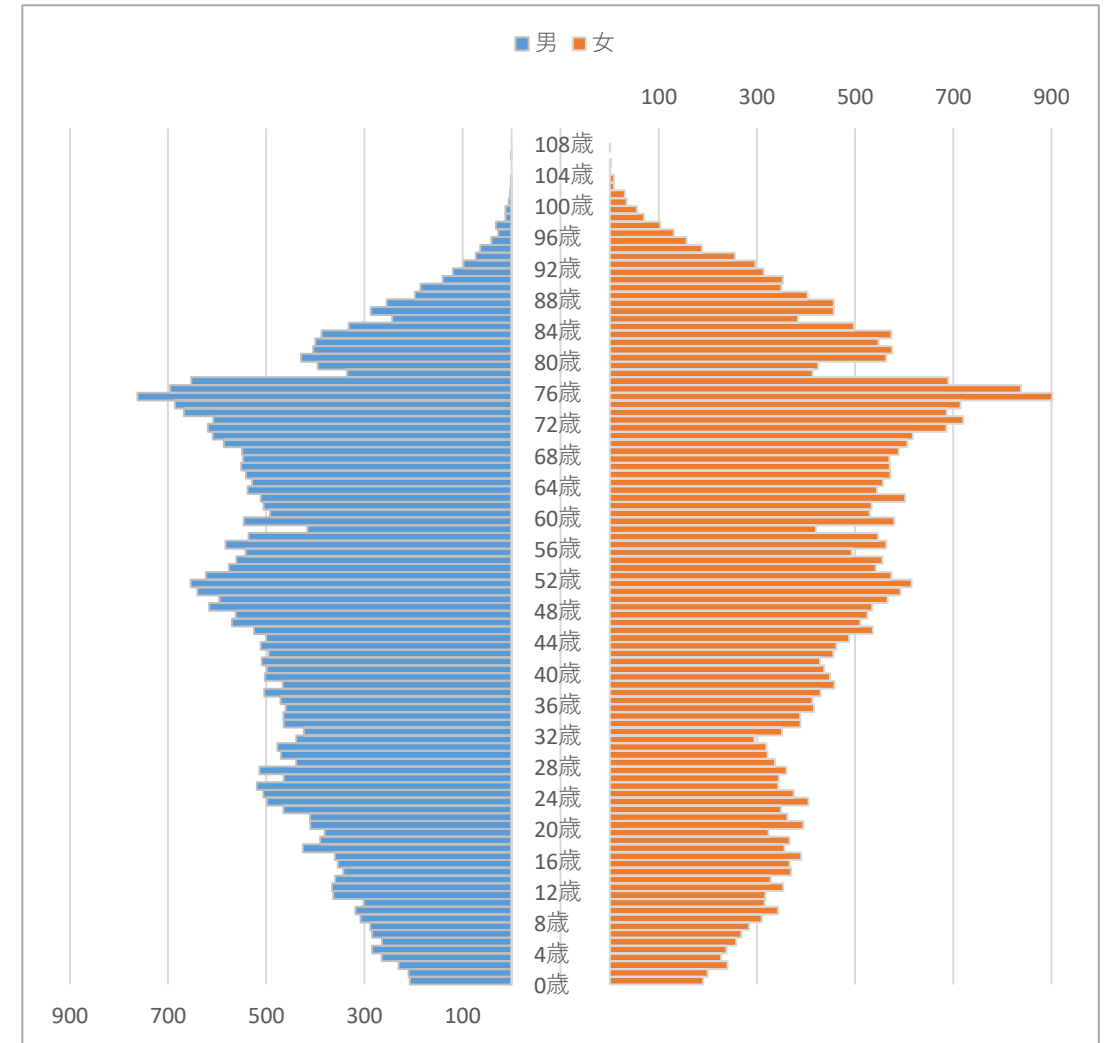
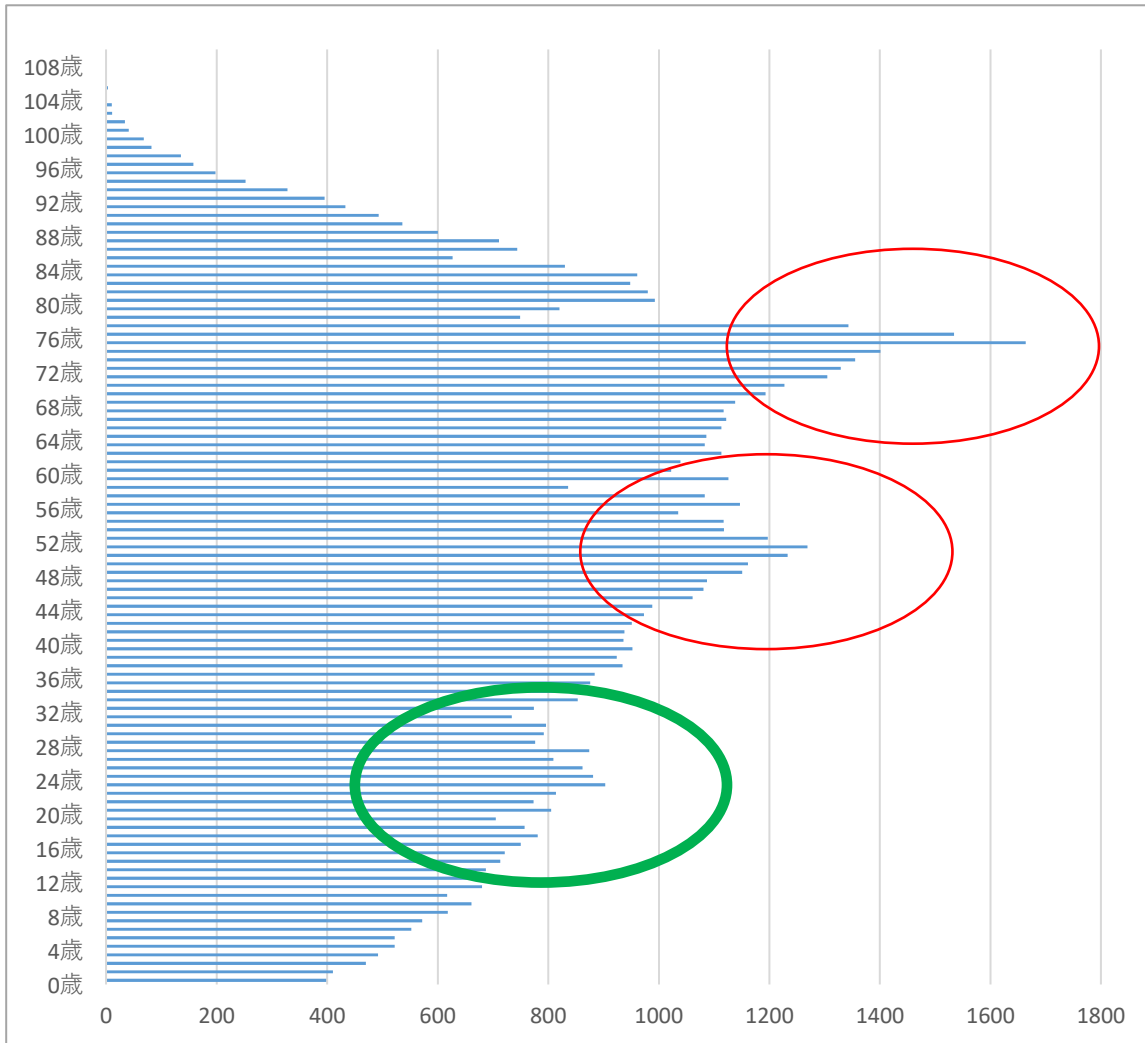
伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2018年3月改定版)  
※住民基本台帳(H24.7.9~H27.5.31)

# 伊賀市における年度別子どもの出生数



住民基本台帳に基づく移動調査表から集計(人)

# 伊賀市の人口ピラミッド



R6. 8.31時点 住民記録年齢別人口集計表より

人口減少のトレンドを反転させるためには、若年人口が急激に減少する2030年に入るまでがラストチャンス

## 「こども計画」の策定について

令和5年4月1日、こども政策を総合的に支援することを目的に「こども基本法」が施行されました。

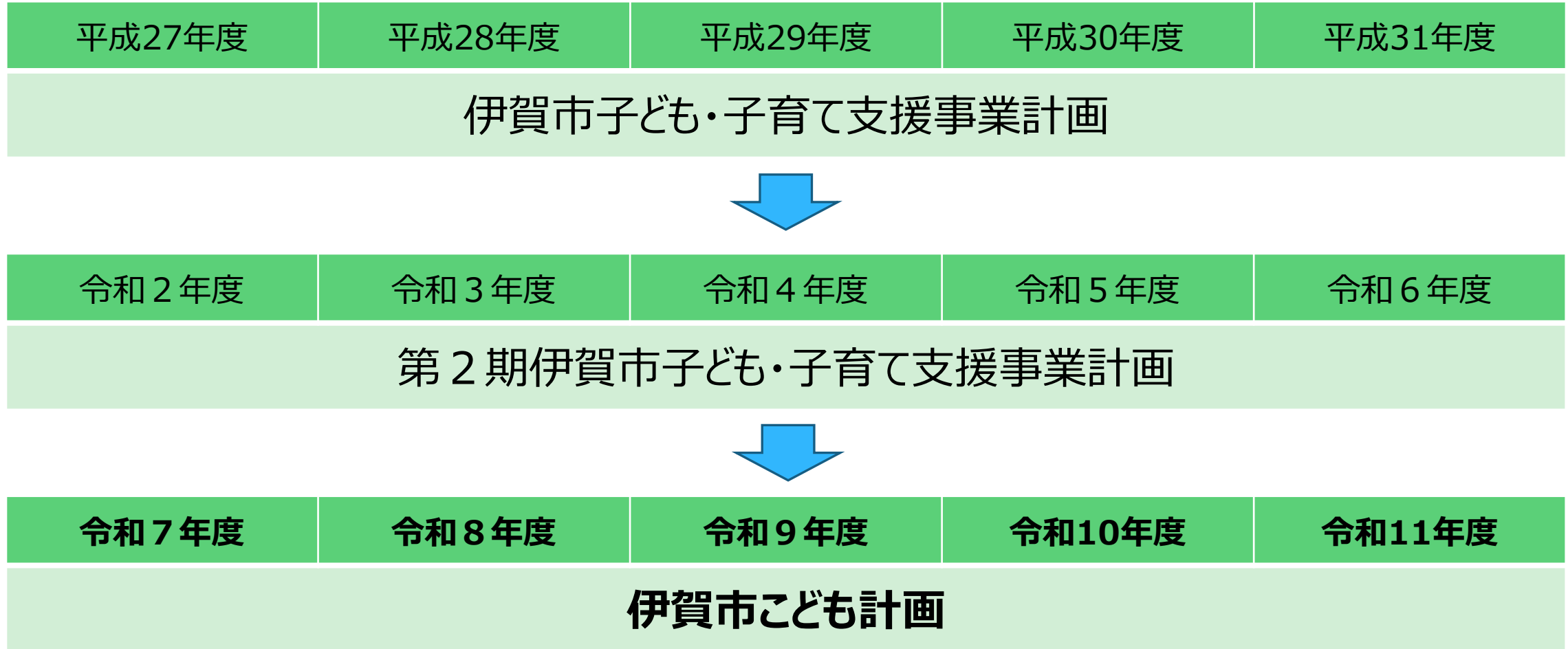
国は、こども施策に関する基本的な方針、重要事項について「こども大綱」を定め、「こども大綱」には「少子化対策」「子ども・若者育成支援」「子どもの貧困対策」を含まなければならないとされています。

都道府県と市町村には、「こども大綱」を勘案し、「こども計画」を定める努力義務が課せられました。

### こども基本法 第10条第3項

市町村は、こども大綱(都道府県こども計画が定められているときは、こども大綱及び都道府県こども計画)を勘案して、当該市町村におけるこども施策についての計画(以下この条については「市町村こども計画」という。)を定めるよう努めるものとする。

# 伊賀市こども計画について



# 伊賀市こども計画

伊賀市では、すべてのこどもの育ちが保障され、こどものいるすべての家庭が安心して子育てができるよう新たに「伊賀市こども計画」を策定しました。

計画では、「こども基本法」などの考え方を踏まえて、5つの基本方針を定めています。

その中で、こどもは、生まれながらにして多様な人格を持った個人として尊重されるべき存在であり、こどもの今と将来にわたっての最善の利益を実現するための「**こどもの人権、権利の尊重**」と、こどもの自己肯定感の向上に資するため、その発達・成長の度合いに応じて意見形成し、表明することを支援するとともに、こどもが社会に参画できるさまざまな機会をつくるための「**こどもの参加機会の確保**」を基本方針の一つと位置づけ、他の方針とともに、こども施策に取り組むうえでの基本的な考え方として各種事業に取り組んでいます。

みんなが主役!!

“ともに成長し、明るく・楽しく・笑顔  
そして自信にみちあふれる”伊賀市



# 伊賀市子ども計画

～夢みる未来に向かって～

みんなが主役!!  
“ともに成長し、明るく・楽しく・笑顔  
そして自信にみちあふれる”伊賀市

2025年3月 伊賀市

い  
が  
し



# 伊賀市こども計画の特徴

## 2-4 からだそだて・食育の推進

「からだそだて」については、こどもの健康な成長を支える基礎をなすものであり、引き続き、保育所（園）、認定こども園や幼稚園では、こどもの身体感覚を高める幼児教育・保育内容を実施します。

保育所（園）等では、「にんにんタイム<sup>26</sup>」を実施し、発達段階に応じた保育計画等を策定して、各保育所（園）等で実践することにより、からだを動かす楽しさを感じています。

また、「食」については、小中学校での朝食欠食率が、全国平均よりも高い数値が続いています。そのため、学校教育の中では、地域の生産者から食材についての話を聞く機会をつくるなど、「食」を担う多様な関係者との連携・協力を図るとともに、調理等の体験活動や、「いがスマイル給食<sup>27</sup>」で提供されている伊賀の特産食材についての学習を取り入れながら、食事の大切さについての理解を促します。

### 〔成果指標〕

| 指標名           |   | 現状値(2024) | 目標値   |
|---------------|---|-----------|-------|
| からだそだて・食育の満足度 |   | 49.4%     | 64.0% |
| 指標の説明         | からだそだて・食育に関して、保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校での取り組みとともに、家庭で取り組むための情報が充実していると思う人の割合 |           |       |

### 〔取り組みを進める上での視点〕

| 世代  | 視点  |
|-----|---|
| こども | 早寝早起きをする ・公園で遊ぶ ・地域のスポーツイベントに参加する ・朝ご飯をしっかりと食べる ・好き嫌いをなくす ・残さず食べる ・地産地消、特産物を知る ・50メートル走る ・高いところに上ることに挑戦する |
| 大人  | 自らが健康的な食生活と運動習慣を実践することで、こどもにとって良い模範となります。   |

### 〔取り組み内容（事業）〕

| 取り組み(事業)名                | 取り組み(事業)内容   | 担当課                         |
|--------------------------|--|-----------------------------|
| 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業） | 親子で参加するからだそだて等の教室・講座の実施及びプレイルームの開放による子育て支援を実施し、子育て情報の発信を行います。また、市内6カ所の子育て支援センターでの各種事業に取り組みます。  | 子育て支援室                      |
| 利用者支援事業（離乳食教室）           | 離乳食教室を開催し、離乳食の進め方の講話や簡単な調理実習を行います。また、子育てに関することを気軽に相談できる乳幼児相談や、ウェルカムベビー教室、育児体験教室を実施します。   | 子育て支援室                      |
| 幼児教育・保育事業                | 保育所（園）、認定こども園や幼稚園で、食育の推進やこどもの身体感覚を高める幼児教育・保育内容を実施します。<br>職員が0歳児からの発達に応じた環境設定を学び、発達に沿ったあそびを保育の中に取り入れて、夢中であそべる環境づくりに努めます。  | 保育幼稚園課                      |
| 特産農産物等振興事業               | 多様な伊賀産食材を使用し、市内小中学校にて「いがスマイル給食」として提供することによって、地産地消の推進と地元食材に関する知識を深めるきっかけをつくり、将来の子供達に伊賀市の食材を積極的に選んでもらえるよう食育の推進を行います。   | 農林振興課                       |
| 学校給食管理事業                 | 全公立小中学校で食に関する指導計画を作成し、実践し、児童生徒の実態に応じた食に関する指導を、系統的に進めます。また、望ましい食習慣を身につけさせるため、日々の給食を生きた教材として活用し、食に興味を持つよう教育のなかで食に関する体験活動に取り組みます。<br>また、地場産（伊賀・三重県産）食材を積極的に使用します。 | 学校教育課                       |
| 給食センター管理運営事業             | 地元食材を紹介する「給食だより」の発行と市HPへの献立（食材の詳細）、食育教材の提示を行います。なお、物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら、地場産（伊賀・三重産）食材を積極的に使用します。また、給食センターにおける調理工程や衛生管理等について学ぶため、児童の見学を受け入れます。          | いがっこ給食センター元気<br>いがっこ給食センター夢 |

# 伊賀市こども計画の特徴

## 〔成果指標〕

| 指標名           |   | 現状値(2024) | 目標値   |
|---------------|---|-----------|-------|
| からだそだて・食育の満足度 |   | 49.4%     | 64.0% |
| 指標の説明         | からだそだて・食育に関して、保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校での取り組みとともに、家庭で取り組むための情報が充実していると思う人の割合 |           |       |

- ・子育て当事者など、施策に関係する方へのアンケート調査結果を反映
- ・計画終期(R11年度)の目標値でなく、毎年度目標値を目指す

## 〔取り組みを進める上での視点〕

| 世代  | 視点   |
|-----|--|
| こども | 早寝早起きをする ・公園で遊ぶ ・地域のスポーツイベントに参加する ・朝ご飯をしっかり食べる ・好き嫌いをなくす ・残さず食べる ・地産地消、特産物を知る ・50メートル走る ・高いところに上ることに挑戦する |
| 大人  | 自らが健康的な食生活と運動習慣を実践することで、こどもにとって良い模範となります。  |

- ・各施策に「大人の視点」「こどもの視点」を記載（※「こどもの視点」は一部施策）
- ・ワークショップ等で出された意見を反映

## 成果指標(目標数値)の一覧

| 施策No. | 基本施策名                | 計画策定時 | R7年度調査 | 増減    | 目標値   |
|-------|----------------------|-------|--------|-------|-------|
| 1-1   | 母子保健の充実              | 70.0% | 69.9%  | ▲0.1% | 80.0% |
| 1-2   | 育児支援の充実              | 58.8% | 59.3%  | 0.5%  | 68.0% |
| 2-1   | 幼児教育・保育の充実           | 82.1% | 84.5%  | 2.4%  | 87.0% |
| 2-2   | 教育の充実                | 61.7% | 65.3%  | 3.6%  | 71.0% |
| 2-3   | 多様な子育て支援の充実          | 39.3% | 40.2%  | 0.9%  | 54.0% |
| 2-4   | からだそだて・食育の推進         | 49.4% | 54.4%  | 5.0%  | 64.0% |
| 3-1   | 若者の修学、就労支援           | 25.0% | 28.6%  | 3.6%  | 40.0% |
| 3-2   | 郷土愛の醸成               | 27.3% | 34.0%  | 6.7%  | 42.0% |
| 4-1   | ひとり親家庭への自立支援         | 44.8% | 45.9%  | 1.1%  | 59.0% |
| 4-2   | 外国につながるのあるこどもや家庭への支援 | 45.0% | 56.2%  | 11.2% | 55.0% |
| 4-3   | 障がいのあるこどもや家庭への支援     | 40.8% | 48.0%  | 7.2%  | 60.0% |
| 4-4   | 困難な状況下にあるこどもへの支援     | 21.7% | 33.2%  | 11.5% | 36.0% |
| 4-5   | 貧困な状況下にあるこどもや家庭への支援  | 29.3% | 39.1%  | 9.8%  | 44.0% |
| 5-1   | 地域や家庭における社会教育環境の整備   | 34.4% | 41.3%  | 6.9%  | 49.0% |
| 5-2   | ワーク・ライフ・バランスの推進      | 21.0% | 26.8%  | 5.8%  | 36.0% |
| 5-3   | 子育て家庭への経済的負担の軽減      | 37.1% | 41.2%  | 4.1%  | 52.0% |

# こども・若者ワークショップの開催

開催日： 令和6年11月23日(土)

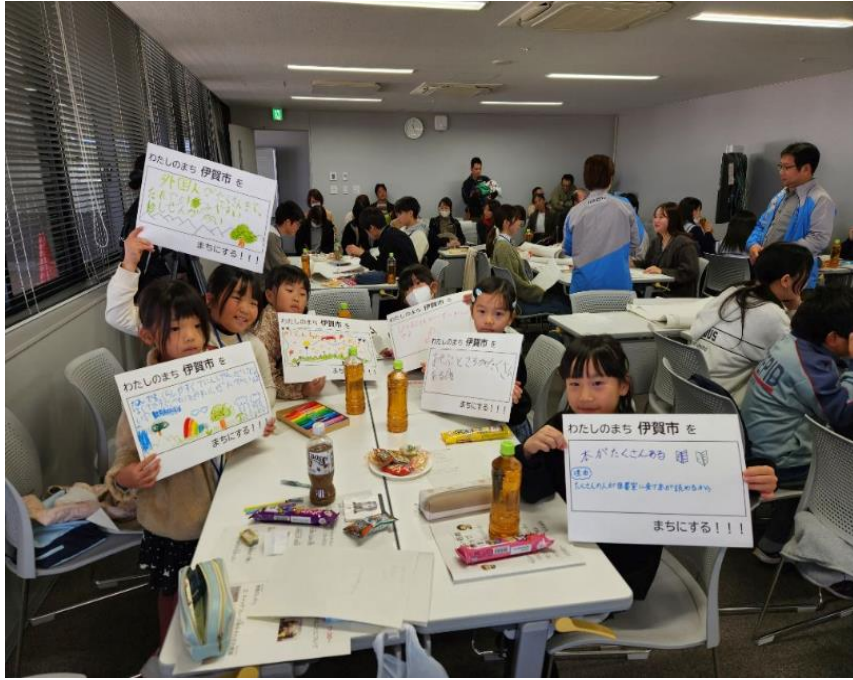
参加者： 保育園児から大学生まで30名

内 容： こども・若者当事者の立場から、伊賀市がどのような街になったらよいか等についての複数のグループに分かれて意見を出し合ってもらった。

目 的： 出し合っていたいただいた意見等から、今後の事業実施へのヒントをいただくとともに、策定中のこども計画の副題や将来像の設定につなげる。



# こども・若者ワークショップの様子



ほいくえん ようちえんで  
 がんばること ②  
 おゆうぎ会をかいた  
 とにかく遊ぶ  
 ソンガールジムでタカイトコソのはね

2-2  
 からこうで  
 がんばること ②  
 勉強をがんばる 100マス計算が  
 グラブ委員会をかいた 外国人の  
 ともだちと遊ぶこと 友達ととも仲良

2-4  
 うんじや ②  
 たべものについて  
 できること  
 50あーとろはる  
 食べ残しをしない  
 朝ご飯をしっかり食べる